

陰陽石・三之宮峡を巡る道

7.1km 1時間47分コース・上級
標高差69m

天下の奇岩「陰陽石」、宮崎県内で現存する最古の石橋「大丸太鼓橋」、竹筋コンクリートと石材を使用して造られた「橋満橋」、全国遊歩百選などに選ばれた「三之宮峡遊歩道」など、貴重な歴史・文化を身近に感じられるコースとなっています。

いち押しスポット



陰陽石

溶岩が川の流れなどによってできたものと言われています。陽石(男石)・陰石(女石)の岩からなり男女の性器をかたどる岩は珍しく、縁結び、子宝及び安産祈願の神として崇められています。秋分の日「陰陽石まつり」などにより観光地として知られるようになり、平成21年には宮崎県の宮崎観光遺産に認定されています。

⑥三之宮峡

～美しい日本の歩きたくなるみち500選認定～
～全国遊歩百選認定～

霧島ジオサイトの1つで約34万年前加久藤カルデラの噴火の際に火砕流によって形成された、雄大な景観美と豊かな植生を今に残す美しい深谷です。約1kmの遊歩道は、昭和30年代まで木炭や木材を運ぶトロッコ道として利用されており、子どもでも歩きやすく、絶好のウォーキングコースです。

第1～第11トンネル

⑦屏風岩

⑨櫓の轟



歴史スポット

②仲間の田の神

五穀豊穡を願い作られた石像で南九州独特のもので、通称「田の神さあ(たのかんさあ)」と呼ばれている市を代表する文化財の1つです。神官型・地蔵(仏像)型・農民(田の神舞)型などがありますが、仲間の田の神は享保7年(1722年)に造られた宮崎県内で2番目に古い像衣立像型の田の神です。



特産品スポット

ぶどう園

肥沃な土壌と昼夜の寒暖差を利用したぶどう栽培が行われています。宮崎県下有数の産地でピオーネ・マスカットなど市内では100品種以上栽培されています。



消費カロリー334kcal
(消費カロリー：体重60kgの人が平常歩時速4kmで歩いた場合)



歴史スポット

①橋満橋

昭和18年に建造された橋で地元の人々が材料を購入して祖国振興隊などの奉仕作業で作られました。戦時中、鉄筋が手に入らなかったため、鉄の代わりに竹を使った「竹筋コンクリート」と石材を使用した非常に珍しい橋です。小林市の有形文化財に指定されています。



ダイワファーム
鼻水流畜産

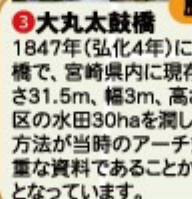
④石切り場

大丸太鼓橋の北側にあり、橋の材料である石を切り出したところです。壁面には「弘化二」(1845年)と彫られた文字が現在も残っており、小林市や南九州の開拓の歴史を知ろううえで貴重な資料となっています。



③大丸太鼓橋

1847年(弘化4年)に完成した石造りのアーチ橋で、宮崎県内に現存する最古の石橋です。長さ31.5m、幅3m、高さ14mのこの橋は、周辺地区の水田30haを潤している水路橋で、石積み方法が当時のアーチ式石橋を研究するうえで貴重な資料であることから宮崎県指定有形文化財となっています。



スタート・ゴール



①陰陽石ふるさと

仲間の田の神
味はら

田園風景

江戸時代から開田が始まりコース周辺に田園が広がっています。水稲・野菜・飼料作物など四季折々の農作物を栽培しており、コースの隣所でその風景をのぞむことができます。

